

## 市立図書館に係る年度経費比較一覧（工事費除く）

【中央図書館】		PFI導入前	PFI導入後	増減	増減率	主な増減理由
		平成18年度	平成29年度			
運営手法		直営+一部委託	一部直営+PFI			
決算金額		平成18年度(円)	平成29年度(円)	増減額(円)	増減率(%)	
中央	人件費（臨時職員賃金含む）	259,499,042	371,951,948	112,452,906	43.3	平成29年度はPFI事業者の人件費を含む。
	運営・施設管理経費	156,801,730	239,746,751	82,945,021	52.9	新館になり延床・開架面積が拡大したことに比例して、施設に係る経費が増になった。
	各種運営経費	28,954,595	21,187,039	-7,767,556	-26.8	平成18年度時には新館準備に係る経費を含んで執行した。
	図書購入費	98,526,929	105,997,010	7,470,081	7.6	各年度ともに中央と地区の図書・視聴覚資料購入に係る経費を含む。
	施設管理費	29,320,206	112,562,702	83,242,496	283.9	新館は延床・開架面積が拡大したことに比例して、光熱水費や清掃・警備等の経費が増になった。
合計		416,300,772円	611,698,699円	195,397,927円	46.9%	新館になり開架・開架面積が拡大したことに比例して、施設に係る経費が増になった。
参考	延床面積(m <sup>2</sup> )	2,375.79 m <sup>2</sup>	6,076.53 m <sup>2</sup>	3,700.74 m <sup>2</sup>	155.8%	新館に移転し、図書館の延床面積がおよそ2.5倍になった。
	1m <sup>2</sup> あたりの年間経費	175,226円	100,666円	-74,560円	-42.6%	延床面積が増となっても、PFIに委託したことで1m <sup>2</sup> あたりの単価は減額になった。

分析・まとめ PFI導入前後の主な違いから、  
 施設の新築移転により延床面積と開架面積がおよそ2.5倍に拡大したことに比例して、施設の維持管理に係る経費が増大した。  
 図書購入費はPFI経費の中に中央・地区館合わせて年間約1億円を保持し、市立図書館として必要な図書の継続的な確保を図っている。  
 人件費にPFI事業者人件費を含んでいることで増額になったが、図書館の根幹的な業務は市が引き続き行い、貸出・返却や書架整理などの業務をPFI(民間)委託したことで効率的な運営につながり、1m<sup>2</sup>あたりの年間経費は約40%以上の削減を実現している。

【地区図書館】		平成18年度	平成29年度	増減	増減率	主な増減理由
		平成18年度(円)	平成29年度(円)	増減額(円)	増減率(%)	
運営手法		直営				
決算金額		平成18年度(円)	平成29年度(円)	増減額(円)	増減率(%)	
地区	人件費（臨時職員賃金含む）	131,675,027	114,245,566	-17,429,461	-13.2	平成18年度は12館中7館に正規職員を各1名を配置していたが、平成19年度以降は段階的に嘱託職員の配置に変更した。
	運営経費	7,224,623	4,553,878	-2,670,745	-37.0	図書館システムに係るOPACリースを中央図書館費のPFIに関する経費に移行した。
	合計	138,899,650円	118,799,444円	-20,100,206円	-14.5%	人件費とOPACリース費の減により約14%の減となった。
参考	延床面積(m <sup>2</sup> )	3,295 m <sup>2</sup>	3,070 m <sup>2</sup>	-225 m <sup>2</sup>	-6.8%	平成18年度では中央文化センター内にさくら通り図書館があったが平成19年度に中央図書館が現在の場所に新築・移転したため閉館。 平成20年度に宮町の旧中央図書館に宮町図書館を開館した。（地区館数は12館で変更なし）
	1m <sup>2</sup> あたりの年間経費	42,155円	38,697円	-3,458円	-8.2%	人件費やOPAC（利用者専用資料検索端末）リース費の減により1m <sup>2</sup> あたりの単価は削減になった。

分析・まとめ 平成18年度と29年度での運営は変更なく市の直営としている中で、  
 平成19年度以降に職員配置の変更を段階的に行ったことで、平成29年度時では中央図書館を基幹施設として連携を取りながら、地区図書館では司書資格等を有する嘱託職員を中心とした運営とした。  
 図書購入費は中央図書館のPFI経費に中央・地区館合わせて年間約1億円を保持し、市立図書館として必要な図書の継続的な確保を図っている。  
 図書館システムと連動した機材に係るリース経費は中央図書館のPFI経費に含むことで、市立図書館全体で一括管理している。

前提条件 PFI導入前の平成18年度とPFI導入後の平成29年度の年間経費を比較。  
 平成29年度の項目に合わせて、平成18年度の経費に振り分けたもの。  
 人件費は正規・嘱託・臨時職員を合わせた経費。  
 平成29年度の地区図書館には正規職員の配置がないため、嘱託・臨時職員の経費。  
 中央・地区館ともに延床面積の共用部分を除く